

カツオ県民会議 第1回情報発信分科会 議事録

2017・6・7 am10:00～12:00 於：司本店

◇宮田速雄分科会座長のあいさつ

- ・当分科会の役割はまず、情報発信だ。カツオ資源の危機的状況を県民はもちろん全国へ、さらには国際社会へ向けて不断に発信。現状や課題について共通認識を持ってもらうことが求められている。
- ・さらには情報発信だけにとどまらず、カツオに関するアーカイブ機能を創設し、全国のマスコミ関係者やカツオに関心を持つ人たちが容易に情報検索することができる環境を整備。運動の広がりを図ることが大切だ。
- ・この運動の大きなポイントになるのは消費者動向、中でも消費者の意識を変えていくことだと考える。カツオが食べられない日が来るかもしれないという危機感が県民に浸透し、さらには国民にも広がっていくことが行政や政治家を動かし、国政レベルの課題にしていくための大きなパワーになる。
- ・県民会議の大きな特徴は、特定の業界関係者だけが集まった組織ではなく、利害とは関係なく幅広い人たちのボランティアを基本とする「手弁当」の組織だ。地元メディアはもちろん、全国紙、通信社の支局長もメンバーにいる。問題意識を全国に広めていくことを目指したい。

◇分科会の初会合であることから出席者全員が自己紹介

＝別紙に出席者名簿を添付＝

◇竹内太一副座長が県民会議設立の経緯とカツオ資源の現状について説明

＝別紙に説明資料を添付＝

【意見交換】

- ・インド洋マグロ類委員会（IOTC）は、カツオ資源では初の漁獲規制を導入したとのことだが、こうした成功事例があるのであれば、まずはここから学ぶのが現実的ではないか。成功した要因の一つが、一本釣りなどの伝統魚法を続けているモルディブが旗振り役だったというのは示唆に富む。
- ・国別漁獲枠を設ける漁獲規制は、IOTCやWCPFC（中西部太平洋マグロ類委員会）を舞台とした国際会議が主戦場だが、日本（水産庁）のWCPFCでの主張は、カツオとマグロではダブルスタンダード（カツオの規制強化を求める一方、マグロでは漁獲目標値の強化に反対）になっている。こうした一貫性を欠く姿勢が、関係国からの批判を浴びカツオ資源の規制強化を求める日本の立場をさらに難しくしている。

- ・カツオの漁獲量あるいは消費量が多い県を「カツオ県」とするなら、カツオ県と連携を図るのも有効ではないか。全国的な広がりを持った運動が求められている。

◇議 題

①アーカイブ機能の創設について

【提案】

オブザーバーとして出席した高知新聞のウェブサイト担当者が以下の通り提案。

- ・分科会単独のサイト構築ではなく、カツオ県民会議全体として独自のドメインを取得し新たなサイトを構築。県民会議の参加企業や団体、関係者からも幅広くコンテンツが入稿できるサイトにしたらどうか。レンタルのサーバーを使ってサイトを構築するだけなら、安価に立ち上げることは可能だ。
- ・アーカイブのコンテンツとして弊社のカツオ関連の記事や写真を無償提供することも検討可能だ。その場合は「著作権の使用許諾協定」を結ぶことが必要となる。
- ・サイト構築費用を抑え、若い世代への広がりを図る意味合いから、大学生らとの協働を図り、産学官連携のサイト設計をするという手法はどうか。

【意見交換】

- ・新たに設けるカツオ県民会議のサイトを「玄関」とし、さまざまな分野の関係先とリンクを張る方法もある。
- ・多くの人にサイトを見てもらうにはサイトの名称も大きなポイント。「高知カツオ県民会議」といった名称では幅広い層から多くの誘引は難しいと思う。智恵の絞りどころだ。
- ・県民会議やサイト独自のロゴやイメージキャラクターがあってもいい。これを一般公募し、広く関心と呼ぶ話題づくりにする方法もある。
- ・スマホ世代へはマンガが有力なコンテンツになる。例えば、青柳裕介さんの「土佐の一本釣り」。キーワードを「土佐の一本釣り」としてサイト検索すると、まず最初に出てくるのがこの作品だ。中土佐町や県まんが王国土佐推進課などと連携すれば広がりも生まれる。
- ・サイトの冒頭には、この県民会議をなぜ立ち上げたのか、その経緯、目的、共通すべき理念、価値観などを宣言することが大切。これが具体的活動の指針、基本方針として長く継続的な活動を導くのではないか。いわばミッションステートメントのようなものだ。

- ・学生との協働でサイト構築を図る提案があったが、経験の範囲内で言うと、学生にクリエイティブな作業はあまり期待しないほうが良いと思う。ただ人手を必要とする作業には有効だし、産官学連携型のサイト構築という取り組みの構えとしては良いのではないかと。

→県民会議全体としてのサイト構築については異論は出なかった。サイト構築に関しては、なお幹事会レベルでの協議、決定の手順で進めていく。

②次回の分科会日程

7月13日(木) 午後3時30分、於：司本店

③分科会の懇親会

7月13日(木)、分科会終了後、司本店で開催

④その他

事務局から。

分科会メンバーへの連絡は今後もメールで一斉送信したい。本日初会合に関する連絡は、メールの宛先に全員のアドレスが表示されないBCCにしたが、皆さんの了解をいただけるのなら、今後の宛先はCCでの一斉メールにしたい。アドレス表示が具合が悪いという方がいれば連絡してほしい。個別対応したい。

以 上